



弓削高校魅力化プロジェクト キャッチコピー

「ワクワク・チャレンジ・創造の ゆめしま海道で夢つなぐ人になる」



◆決定へのプロセス

令和4年1月5日のワーキンググループ（上島町、公営塾、弓削高校、上島町教育委員会、有識者の5者で定期的に行われる会議）において、全国にある高校の中で、『なぜ弓削高校が良いのか？』を言語化し、存在意義を明確にしなればならない。「弓削高校はどんな高校を目指すのか」を考えることになりました。

ワーキンググループの構成メンバーだけで考えていたところ、「弓削高校の生徒」「ワーキンググループに参加していない弓削高校の教員」の意見も広く募り反映すべきという話に至り、生徒の意見の内容をワーキンググループで共有し決定いたしました。

◆込められた思い

このキャッチコピーには、学校のみならず、地域でチャレンジする。県内外の学友や地域の大人と学びワクワクする。ないなら創る、必要なら創造する。ワクワクと、チャ

レンジと、創造をつなぐゆめしま海道。地域と学校・生徒、自分と夢をつなげるゆめしま海道。をイメージしています。自分と夢、夢と夢をつなげて、夢をジブンゴトにして、支えながら夢を追おう。経験を言語化して、自分の価値観やアイデンティティを確立しよう。という思いを込めました。

このキャッチコピーが言語化されたことで、役場、公営塾、弓削高校の行動指針につながったと考えています。

教員：「弓削高らしさ」を表す【動詞】



1年生：「弓削高で学べること」【名詞】



2年生：「弓削高で学べること」【名詞】



3年生：「弓削高らしさ」を表す【動詞】



※一部抜粋

Interview

魅力ある弓削高校に向かって



弓削高等学校教諭
ゆめしま魅力課 越智 雅之さん

私が弓削高校に勤務し始めたのは公営塾がスタートした5年前です。そのときは、塾講師は一人だけで、前例がない中で必死に取り組んでいる姿に感銘を受けたことを今でも覚えています。それから5年が経ち、公営塾は弓削高校を語る上で欠かすことのできない組織となっています。高校魅力化プロジェクトがスタートし、授業の改革（しごとづくり学）、全国からの生徒募集、公営塾の設置、給食の実施等、さまざまなことに取り組んできました。それらを実施する

には課題も多くありましたが、上島町役場の方、地域の方、島親のみなさん、Prima Pinguinoの方、あらゆる立場の方々からの支えがあったことで、少しずつ乗り越えることができました。さらに、このプロジェクトによりできたつながりを通して、生徒と地域との新たな交流が生まれ、今まで以上に生徒が生き生きとしていると実感しています。今後も、地域のみなさんと一緒に、魅力ある学校に向けて挑戦していきたいです。

Interview

充実した環境で成長できる高校



PTA会長
村上 貴樹さん

弓削高校は生徒一人ひとりが主役になれる高校です。少人数ということもあり、学校行事などでは新しいことにチャレンジする機会が多いと思います。各自の役割や責任が大きく大変なこともあると思いますが、さまざまな経験を積むことが子どもの成長の糧になると思います。学習面では、弓削高校・公営塾の先生方の熱量も高く、生徒個人に合わせた学習支援と進路相談を行なってくれます。昨年度に卒業した私の長女の進路を決める際には、しっかりサポート

していただき非常に心強かったです。また、弓削高校魅力化プロジェクトにより将来の選択肢を広げる社会的な学習にも力を入れています。ここ数年、上島町内の中学生の弓削高校への進学率が上がっているそうです。弓削高校のよさが口コミで、中学生やその保護者に伝わった結果だと思っています。その他にも、弓削高校は町内の行事などに積極的に参加しています。地域との結びつきも強く、上島町にとっても無くてはならない存在です。

Interview

「島親（私）と留学生のWIN-WIN関係」



島 親
竹林 総枝さん

みなさんは「空の巣症候群」という言葉を知っていますか。この春、わが家の子供たちは島から旅立ちました。その寂しさを紛らわせるため「弓削高の県外留学生と交流するのはどうだろう」と島親に登録をしました。聞けば夕食の提供先を探しているとのこと。しかし、一人で毎日食事を準備する自信は、とてもありません。そこで、他の島親さんたちに相談すると「協力するよ」と優しいお返事をいただけたので、

島おこし協力隊員や弓削高校の先生方と一緒に受注のしくみを整え、5月から夕食提供（有料）をスタートさせることができました。夕食を共にすることで、生徒たちの高校生活や個性が垣間見えるようになり、徐々に食事以外の交流も増えてきました。私は「空の巣」の寂しさを紛らわせることができ、生徒たちは夕食が確保できるwin-winの関係を、これからも保てればいいなと思っています。

Interview

地域と高校にとって魅力的な「ゆめしま未来塾」であるために



公営塾塾長
来住 美里さん

弓削高生のために上島町が運営する「ゆめしま未来塾」は、開講して6年目となります。塾では、高校の授業の予習・復習をしたり、大学生や専門学生をお招きして進路座談会を開催したり、受験生それぞれの志望校合格に向けて個別指導を行ったりと、学習支援・進路支援に力を入れています。また、さらに、塾生がふるさとの魅力を感じ、将来上島町に戻ってきたいと思ってもらえることを目指して、地域の方々との交流を積極的に行っています。

ありがたいことに塾を知ってくださっている地域の方も多く、「弓削高には公営塾があるから学習環境が充実している」と温かい言葉をいただきます。上島町の子どもたち、そして町外から弓削高校を選んで来てくれる未来の留学生にもっと塾のことを知っていただきたいと思っています。これからも、ゆめしま未来塾が弓削高校の魅力であり続けるために、できることは何か・すべきことは何かを引き続き考えてまいります。